

MサポNEWS

登録団体 PICK UP

前橋をもっと良くする
熱い思いをお聞きました！

NPO法人 はじめの一步

ひきこもりの子どもと大人、不登校の子どもの居場所づくりを行っているなかで、「一緒に楽しめるものを」と、はじめたのが焼きまんじゅうカー。副代表の倉林伸哉さんは、焼きまんじゅう修業をして自己資金でキッチンカーを1台購入。



焼きまんじゅうカーでどこでも出張！

ひきこもりの方と一緒に、前橋協立病院駐車場で毎週水曜日午前に行われている「小さなやさしさ市場」や、介護施設などに出



看板やチラシのデザインや飾りのクッションも仲間の手作り

店しています。「焼きまんじゅうはこんなにおいしかったんだ」との喜びの声に感激し、購入者との交流が前向きな自信につながっています。

「自分が楽しいから子どもたちと一緒に遊んでいだけ。そういう大人が周りにもっといなきゃいけないと思う」と言う、倉林さんの思いが伝わってきました。

NPO法人 ソンリッサ

新規
登録

「孫のように頼りにしてもらえたら嬉しい」そう話すのは、代表理事の萩原涼平さん。家族と離れて一人で暮らす「寂しい」「日常をどう送っていいかわからない」日々を過ごす高齢者のため、「Tayory」（タヨリー）という新しい事業を始めました。「頼り」になる若く気さくな“まごマネージャー”が、高齢の方の趣味のお話相手や日々のお困りごとをお手伝いする訪問サービスです。離れて暮らすご家族の方に日々の様子を「便り」にしてお届けします。

ご家族、ケアマネージャーに向けた無料説明会・体験会では丁寧な説明を心がけているそうです。「利用者の方に日々の生きがい、役割、社会との

接点を作ってもらうにはどうしたらいいかを考え活動しています。メンバーには介護・福祉の専門職が揃っているので、気軽にご相談いただければと思います

1人1人の思いが尊重される社会を作るために、萩原さんの挑戦は続きます。

[ホームページ]



[Facebook]



前橋市の給食を考える会

新規登録

子ども達が安全な食べ物を食べられるように、前橋市の給食の有機化と、循環型社会の実現をビジョンとし活動しています。

全国的にも、有機米や有機野菜、地元産小麦を給食に使用する自治体が増えています。また、農林水産省は、有機農産物を学校給食に導入するための支援を始めています。

副会長の青木早希さんは、フランスの給食をオーガニックにする活動の映画に感銘を受け、自分達で出来ることはないかと、仲間と一緒に会を立ち上げました。

「前橋市の給食に地元の有機農産物を使うこと

で、安心・安全な食料の供給だけでなく、有機農業の活性化、地産地消の促進、前橋市の認知度の向上で、子育て世代の移住者が増えるなど、良い循環を起こしたい」と青木さんは考えています。

[ホームページ]



NPO法人 キッズバレイ

新規登録



[ホームページ]



大切な人を失ったことによる、様々な身体的・心理的・社会的な反応のことをグリーフ(悲嘆)といいます。パートナーやお子さんを亡くした方への声

がけに悩んだ経験から、令和2年9月にグリーフケア・ネットワークぐんま『ことのは』の事業を立ち上げました。

桐生市を拠点に子育て支援を行っており、グリーフケアの場として当事者同士が話し合える座談会やワークショップなどを開催し、令和3年7月から前橋にも活動場所を広げました。

「まずは、グリーフケアについて知ってもらい、ゆくゆくは前橋でも座談会やワークショップを運営するサポーターの養成を考えています。グリーフを抱えている人に適切な声かけや対応が広がり、地域がゆるやかにつながる優しい社会を実現したい」と、事務局の柏瀬眞美さんは抱負を語ります。

Mサポ・サポーター 募集中！

クリーン活動・図書整理などの活動でMサポを応援して下さるボランティアを募集しています。どなたでもお気軽にご参加ください。

毎月第2水曜日(原則) 14:00~16:00 | Mサポ会議室

できることを
一緒に楽しく！

詳しくは
Mサポへ



ひとこと | アンケートへのご協力ありがとうございます。8/31まで受け付けておりますので、引き続きご協力をお願いします (狩野)



編集:前橋市市民活動支援センター 発行:特定非営利活動法人 市民活動を支援する会

〒371-0023 群馬県前橋市本町 2-12-1 K'BIX 元気 21 まえばし/3F 開館時間: 10:00-19:00 休館日: 日曜日・年末年始・8/16(月)

TEL 027-210-2196 FAX 027-237-0810 ☑ 21@maebashi-shiminkatsudo.jp 🌐 http://maebashi-shiminkatsudo.jp